



の動き（敬称略）

ご誕生おめでとうございます

氏名	届出人	住所
片岡 奏太	興 三	三 吉

お悔やみ申し上げます

氏名	年齢	住所
田 邊 仲 代	101歳	福 塚
高 橋 艶 子	93歳	湯 河
伊 田 美 園	89歳	霞
古 都 民 代	95歳	印 賀
湯 川 幸	91歳	萩 原
石 倉 政 雄	97歳	上石見
徳 尾 和 宏	64歳	花 口
石 橋 勇	85歳	阿毘縁
坪 倉 都	87歳	茶 屋

（平成31年1月16日～平成31年2月15日受付分）

■世帯 2,044（－3） ■人口 4,603（－12）
■男 1,163（－8） ■女 2,440（－4）

法令の改正により、外国人を含めた世帯数と人口を掲載しています。
平成31年1月末日現在

町長日誌

旧暦の24節気があります。春・夏・秋・冬と季節を分け、さらにそれぞれを6つに分けたものです。今頃は「雨水」と言われ、2月19日頃からとされています。雪が雨に変わる頃としてうたわれて春の訪れの始まりの時期と私は解釈しています。

しかし今年はどうでしょうか。降雪がありません。日南町らしくありません。先輩諸氏に聞いても「こんな年は初めての経験だ。」という声を聞きます。そして、誰もが「後が怖い。夏に水がなく心配だ。」そんな不安視する声が続きます。確かに私自身も同じように感じています。とは言いながらまだまだ寒さは続きます。ご自愛ください。

先日、西部地区町村教育研究大会に出席しました。その講演で都会の大学を卒業してきた若者の発表がありました。益田市の教育委員会に勤めている方で、テーマは「対話を核に、人をつなぐ」でありました。育てたい子ども像としてひとつは「益田への愛着を持ち、益田への貢献の思いを持つ」という目的があり、一度は外に出たとしても、将来「益田を選ぶ種まき」を市民との出会いを大切にする取り組み事例の紹介でした。

本町においても同様な思いはあります。活動の継続が必要と感じています。しかしながら地方の持続には、必要な活動と改めて感じるとともに「時代の変化に対する考え方」を、私自身に変革しなければと思いました。

日南町長 中村 英明

観光協会通信

2019年
3月号

今月の背景『野分の館』

日南町観光協会 TEL 82-1715

商品等につけるPOP（ポップ）の書き方セミナーに参加してきました

1月29日に米子市で行われた「すごいPOPの書き方教えますスペシャル！」のセミナーに参加してきました。POPはパソコンできれいに作られたものより、手書きの方がよく目に留まるそうです。

セミナーで学んだことを皆さまにも知っていただき、ぜひ、お仕事や日常生活で役立てていただけたら嬉しいです。（文・松本みはる）

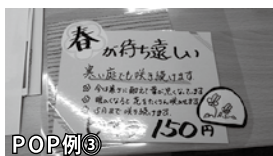
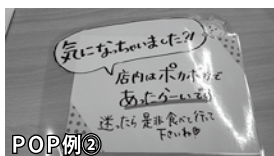
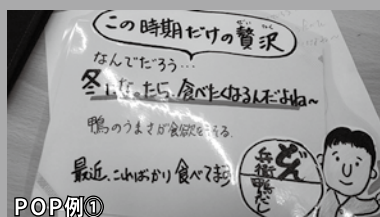
<POP作りのメリット>

- ・自分が接客中でもPOPが代わりに接客（商品説明）をしてくれる。
- ・売り場が華やかになり、お客様の滞在時間が長くなる。（販売機会の増加）
- ・商品に詳しくなれる。



<POP作りのポイント>

- ・キャッチコピーを目立たせる。書店に行くとコピーのヒントが得られます。
- ・伝えたい相手は絞れば絞るほど効果的です。
- ・縁取りやライン引きを多用し、極力イラストや写真を入れましょう。
- ・文字の大きさにメリハリをつけましょう。（文字の色は黒一色が読みやすい）
- ・枠の外に「吹き出し」をつけて、必ず伝えたいことを書くようにしましょう。



例①は人物のイラストに目が行き、例②は吹き出しの言葉が印象的で、例③は箇条書きで読みやすい工夫がされているなどなど、様々な作り方を学びました。こちらでは紹介しきれない内容もありますので、もっと知りたいという方は観光協会までお問い合わせください。

